

平成26年度 函館市病院事業の経営実績

平成27年6月
函館市病院局

目 次

I 平成26年度の経営状況

26年度当初に掲げた各目標値に対する実績を記載しています。

1 患者数等	1 ページ
2 収支状況	2～5 ページ
3 主な経営指標	6～7 ページ

II 過去5か年の経営実績

22～26年度までの経営実績を記載しています。

1 函館病院医業収益	8～9 ページ
2 恵山病院医業収益	9～10 ページ
3 南茅部病院医業収益	10 ページ
4 未収金の状況	11 ページ
5 医業収益に対する材料費の割合	12 ページ

III 改革プラン収支計画との比較

改革プラン収支計画と実績の比較を記載しています。

1 収支計画と実績の比較	13 ページ
--------------	--------

I 平成26年度の経営状況

1 患者数等

① 函館病院

入院患者数は、一般ではドクターヘリ対応の工事の影響等により、1日平均486人の予算目標に対し18.9人下回り467.1人、新規入院患者数は、25年度の11,505人に対して136人減少し11,369人、年間平均在院日数は、25年度の14.1日に対して14.0日となっています。

また、精神では医師減による27年度からの病棟閉鎖のため、24人の予算目標に対し9.1人下回り14.9人となっています。

外来患者数は、一般では地域での役割分担が進まず、1日平均1,020人の予算目標に対し87.9人上回り1,107.9人、精神では診療体制の縮小により、60人の予算目標に対し26.4人下回り33.6人となっています。

病床利用率は、一般16床、精神50床の病床削減を行ったことにより、一般で25年度の74.9%に対し0.2%上回り75.1%、そのうち結核、感染症、休床を除く利用率については90.0%となっています。

また精神は、25年度の49.1%に対し25.2%下回り23.9%となっています。

区分	H26予算目標A	H26実績B	差引B-A
入院患者数（一般）	486.0人/日	467.1人/日	△ 18.9人/日
新規入院患者数	(H25実績 11,505人)	11,369人	△ 136人
年間平均在院日数	(H25実績 14.1日)	14.0日	△ 0.1日
入院患者数（精神）	24.0人/日	14.9人/日	△ 9.1人/日
外来患者数（一般）	1,020.0人/日	1,107.9人/日	87.9人/日
"（精神）	60.0人/日	33.6人/日	△ 26.4人/日
病床利用率（一般618床）	(H25実績 74.9%)	75.1%	0.2%
"（結核、感染症、休床除く）	(H25実績 88.9%)	90.0%	1.1%
病床利用率（精神50床）	(H25実績 49.1%)	23.9%	△ 25.2%
"（休床除く）	(H25実績 70.1%)	—%	—%

※函館病院病床数 一般618床（一般病床582、結核病床30、感染病床6）、精神50床
 [休床：一般：H25末598床中68床、H26末582床中107床、精神：H25末100床中30床]

② 恵山病院

入院患者数は、1日平均57人の予算目標に対し8.1人下回り48.9人となっています。

外来患者数は、1日平均77人の予算目標に対し9.4人下回り67.6人となっています。

病床利用率は、25年度の81.8%に対し0.3%下回り81.5%となっています。

区分	H26予算目標A	H26実績B	差引B-A
入院患者数	57.0人/日	48.9人/日	△ 8.1人/日
外来患者数	77.0人/日	67.6人/日	△ 9.4人/日
病床利用率	(H25実績 81.8%)	81.5%	△ 0.3%

※恵山病院病床数 療養60床

③ 南茅部病院

入院患者数は、一般で1日平均28人の予算目標に対し3.9人下回り24.1人となっています。

また、療養は15人の予算目標に対し1.9人上回り16.9人となっています。

外来患者数は、1日平均113人の予算目標に対し15.2人下回り97.8人となっています。

病床利用率は、25年度の71.1%に対し1.6%下回り69.5%となっています。

区分	H26予算目標A	H26実績B	差引B-A
入院患者数（一般）	28.0人/日	24.1人/日	△ 3.9人/日
"（療養）	15.0人/日	16.9人/日	1.9人/日
外来患者数	113.0人/日	97.8人/日	△ 15.2人/日
病床利用率	(H25実績 71.1%)	69.5%	△ 1.6%

※南茅部病院病床数 一般37床、療養22床

2 収支状況

① 函館病院

平成26年度の実績(決算見込)は、当年度資金過不足額が8億3,258万9千円の赤字となり、対前年比では11億3,405万7千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては9億2,042万1千円のマイナスとなっています。

なお、H26決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、前年度との比較のため極力旧基準で記載していますので、新基準適用の実際の予算・決算値とは一致しません。

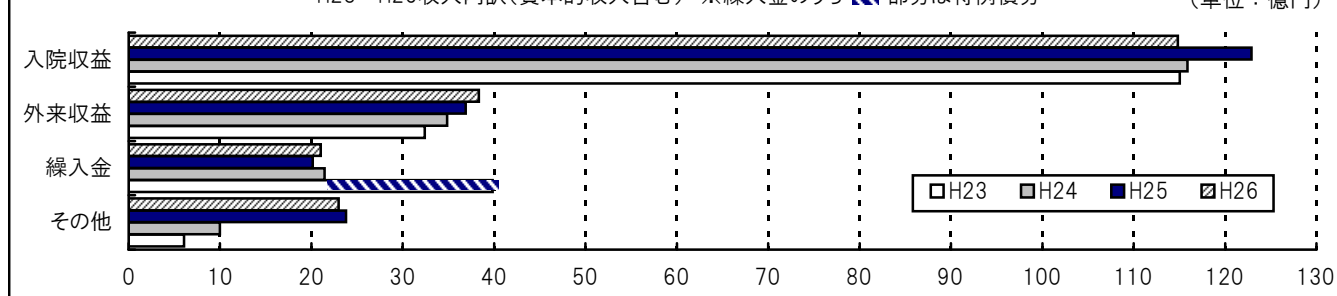
また、H26から就航したドクターヘリ分が、収入に補助金等として8,406万5千円、支出に経費等として9,022万7千円含まれています。

(単位：千円)

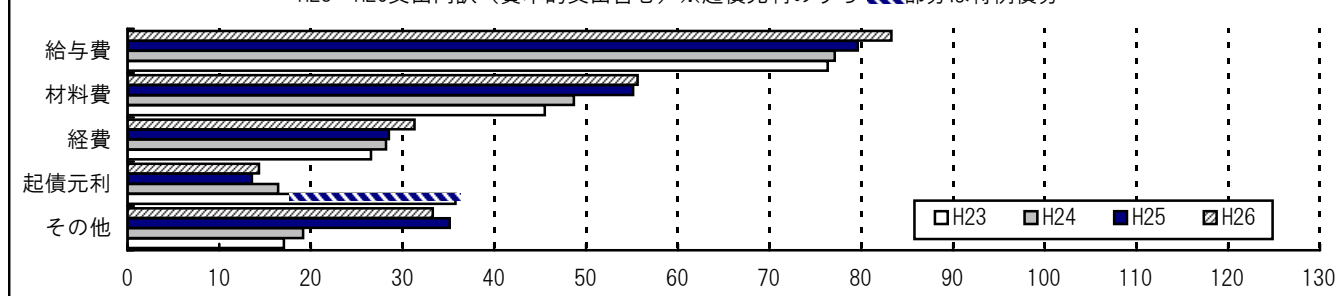
科目			H25実績A	H26決算見込B	差引B-A	H26当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	12,287,290	11,484,612	△ 802,678	12,263,042	△ 778,430
		外来収益	3,688,070	3,831,964	143,894	3,427,838	404,126
		その他	229,795	183,404	△ 46,391	255,247	△ 71,843
	医業外・学院収益 (うち一般会計繰入金)		1,747,511 (1,357,002)	1,746,181 (1,394,911)	△ 1,330 (37,909)	1,773,173 (1,403,447)	△ 26,992 (△ 8,536)
	特別利益		637	62	△ 575	0	62
	計		17,953,303	17,246,223	△ 707,080	17,719,300	△ 473,077
費用	医業費用	給与費	7,960,542	8,327,330	366,788	8,529,181	△ 201,851
		材料費	5,514,060	5,559,816	45,756	4,908,775	651,041
		経費	2,851,045	3,130,742	279,697	3,051,788	78,954
		その他	1,113,524	1,181,638	68,114	1,257,795	△ 76,157
	医業外・学院・予備費		613,375	601,608	△ 11,767	617,553	△ 15,945
	特別損失		75,576	110,373	34,797	115,000	△ 4,627
計		18,128,122	18,911,507	783,385	18,480,092	431,415	
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 99,880	△ 1,554,973	△ 1,455,093	△ 645,792	△ 909,181
収益-費用			△ 174,819	△ 1,665,284	△ 1,490,465	△ 760,792	△ 904,492
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			2,413,741 (657,759)	2,470,416 (707,928)	56,675 (50,169)	2,630,398 (709,098)	△ 159,982 (△ 1,170)
資本的支出			3,067,166	2,871,386	△ 195,780	3,060,995	△ 189,609
資本的収支差引			△ 653,425	△ 400,970	252,455	△ 430,597	29,627
損益勘定留保資金			1,129,712	1,233,665	103,953	1,279,221	△ 45,556
当年度資金過不足額			301,468	△ 832,589	△ 1,134,057	87,832	△ 920,421
一般会計繰入金 合計			2,014,761	2,102,839	88,078	2,112,545	△ 9,706

H23～H26収入内訳(資本的収入含む) ※繰入金のうち 斜線部分は特例債分

(単位：億円)



H23～H26支出内訳(資本的支出含む) ※起債元利のうち 斜線部分は特例債分



※H23繰入金には、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(1,813,800千円)を含む。

※H23起債元利償還金には公立病院特例債の繰上償還(1,813,800千円)を含む。

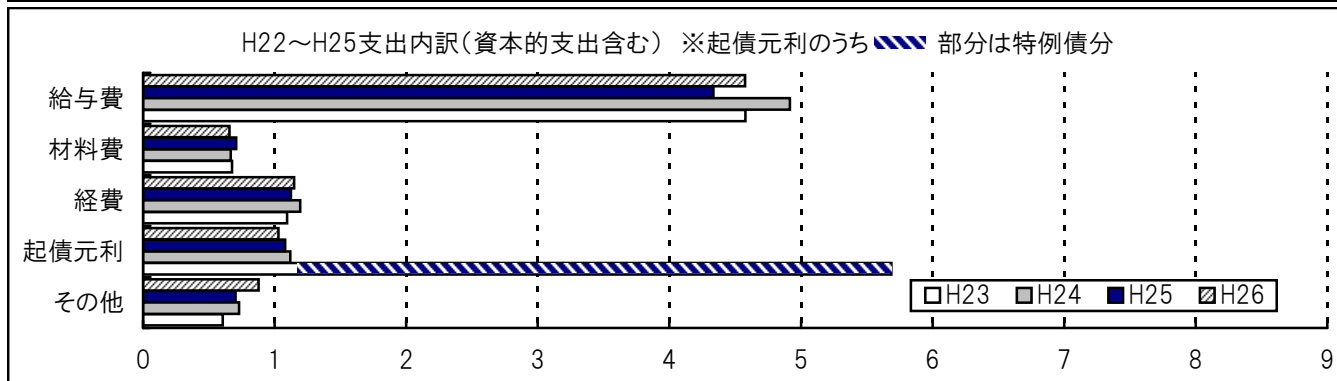
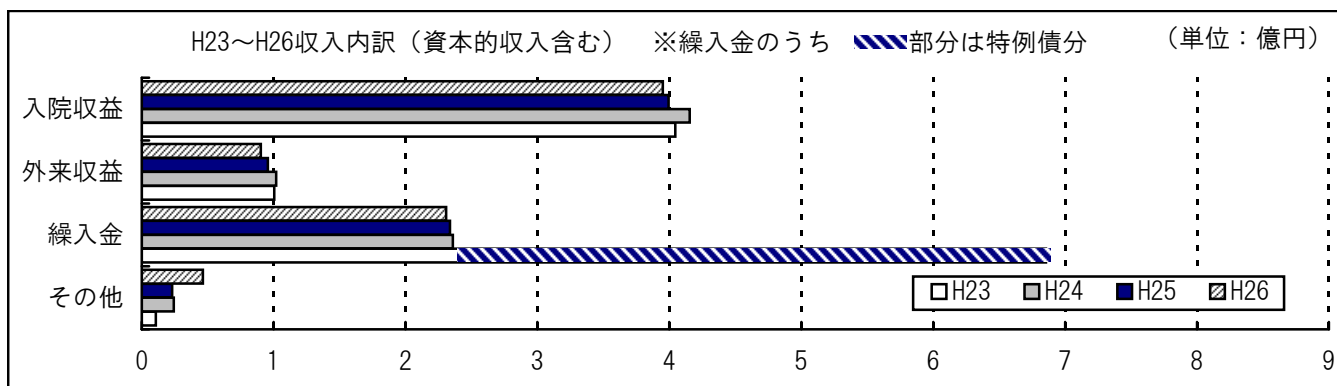
② 恵山病院

平成26年度の実績（決算見込）は、当年度資金過不足額が1,335万7千円の赤字となり、対前年比では2,661万7千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては1,655万円のマイナスとなっています。

なお、H26決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、前年度との比較のため極力旧基準で記載していますので、新基準適用の実際の予算・決算値とは一致しません。

(単位：千円)

科目			H25実績A	H26決算見込B	差引B-A	H26当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	399,289	395,077	△ 4,212	455,487	△ 60,410
		外来収益	95,687	90,295	△ 5,392	109,026	△ 18,731
		その他	10,132	11,565	1,433	10,295	1,270
	医業外収益 (うち一般会計繰入金)		165,161 (163,739)	165,555 (164,149)	394 (410)	165,583 (164,147)	△ 28 (2)
	特別利益		0	0	0	0	0
	計		670,269	662,492	△ 7,777	740,391	△ 77,899
費用	医業費用	給与費	433,451	457,603	24,152	473,183	△ 15,580
		材料費	70,868	65,612	△ 5,256	82,858	△ 17,246
		経費	112,482	114,917	2,435	139,910	△ 24,993
		その他	53,995	49,790	△ 4,205	50,763	△ 973
	医業外費用		11,129	10,665	△ 464	12,024	△ 1,359
	特別損失		521	404	△ 117	500	△ 96
計		682,446	698,991	16,545	759,238	△ 60,247	
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 11,656	△ 36,095	△ 24,439	△ 18,347	△ 17,748
収益-費用			△ 12,177	△ 36,499	△ 24,322	△ 18,847	△ 17,652
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			81,534 (69,934)	99,808 (66,508)	18,274 (△ 3,426)	100,308 (66,508)	△ 500 (0)
資本的支出			112,561	129,934	17,373	130,511	△ 577
資本的収支差引			△ 31,027	△ 30,126	901	△ 30,203	77
損益勘定留保資金			56,464	53,268	△ 3,196	52,243	1,025
当年度資金過不足額			13,260	△ 13,357	△ 26,617	3,193	△ 16,550
一般会計繰入金 合計			233,673	230,657	△ 3,016	230,655	2



※H23繰入金には、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(448,600千円)。

※H23起債元利償還金には公立病院特例債の繰上償還(448,600千円)を含む。

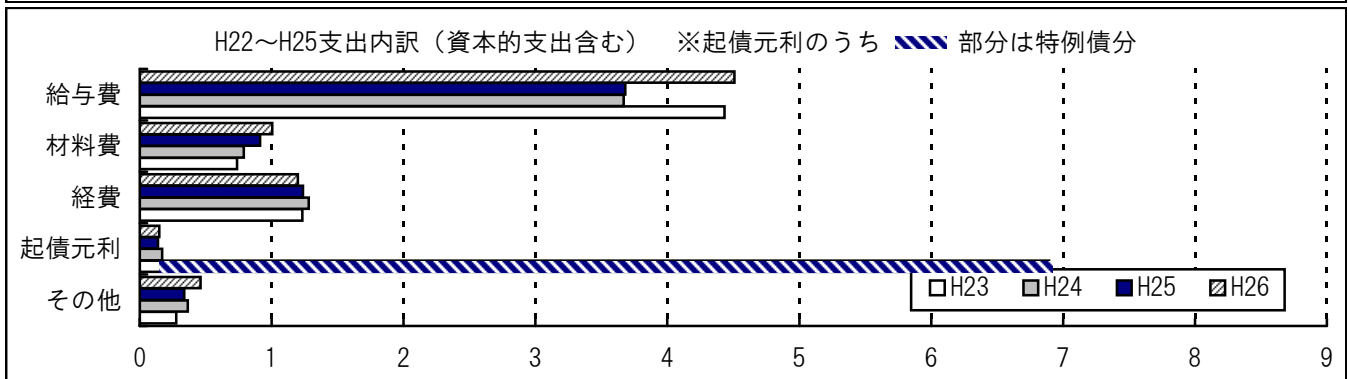
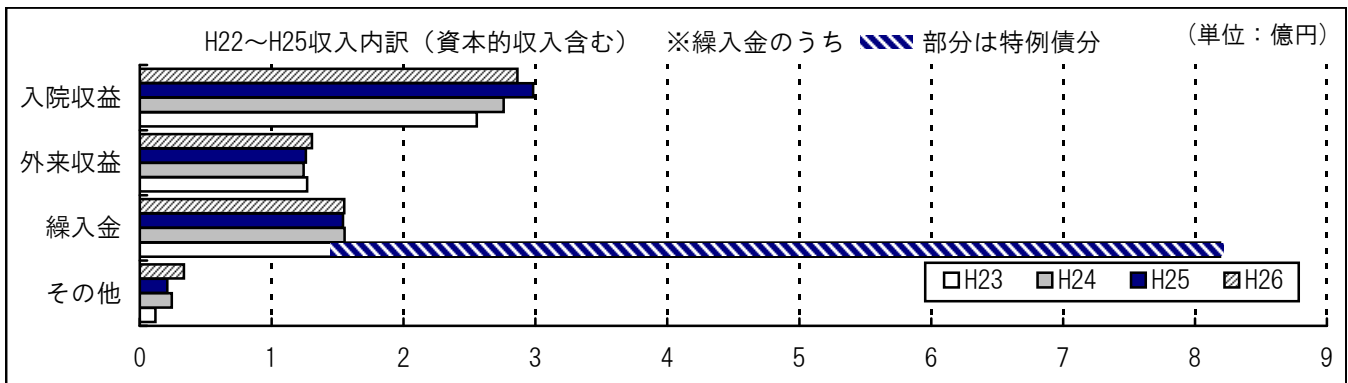
③ 南茅部病院

平成26年度の実績（決算見込）は、当年度資金過不足額が1億574万円の赤字となり、対前年比では9,425万6千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては1,742万4千円のマイナスとなっています。

なお、H26決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、前年度との比較のため極力旧基準で記載していますので、新基準適用の実際の予算・決算値とは一致しません。

(単位：千円)

科目		H25実績A	H26決算見込B	差引B-A	H26当初予算C	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	298,253	286,306	△ 11,947	296,962	△ 10,656
	外来収益	125,849	130,617	4,768	137,418	△ 6,801
	その他	8,183	9,661	1,478	9,594	67
	計	581,805	576,259	△ 5,546	593,846	△ 17,587
費用	医業費用					
	給与費	368,088	450,849	82,761	442,534	8,315
	材料費	91,233	100,342	9,109	97,489	2,853
	経費	123,653	119,818	△ 3,835	128,995	△ 9,177
	その他	21,856	22,966	1,110	23,349	△ 383
医業外費用	4,951	4,745	△ 206	6,098	△ 1,353	
特別損失	109	94	△ 15	500	△ 406	
計	609,890	698,814	88,924	698,965	△ 151	
収益-費用(特別利益・損失を除く)		△ 27,976	△ 122,461	△ 94,485	△ 104,619	△ 17,842
収益-費用		△ 28,085	△ 122,555	△ 94,470	△ 105,119	△ 17,436
資本的収入		17,092	29,188	12,096	29,188	0
(うち一般会計繰入金)		(6,892)	(7,588)	(696)	(7,588)	(0)
資本的支出		20,506	33,294	12,788	33,378	△ 84
資本的収支差引		△ 3,414	△ 4,106	△ 692	△ 4,190	84
損益勘定留保資金		20,015	20,921	906	20,993	△ 72
当年度資金過不足額		△ 11,484	△ 105,740	△ 94,256	△ 88,316	△ 17,424
一般会計繰入金 合計		154,041	154,938	897	155,122	△ 184



※H23繰入金には、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金（663,700千円）。

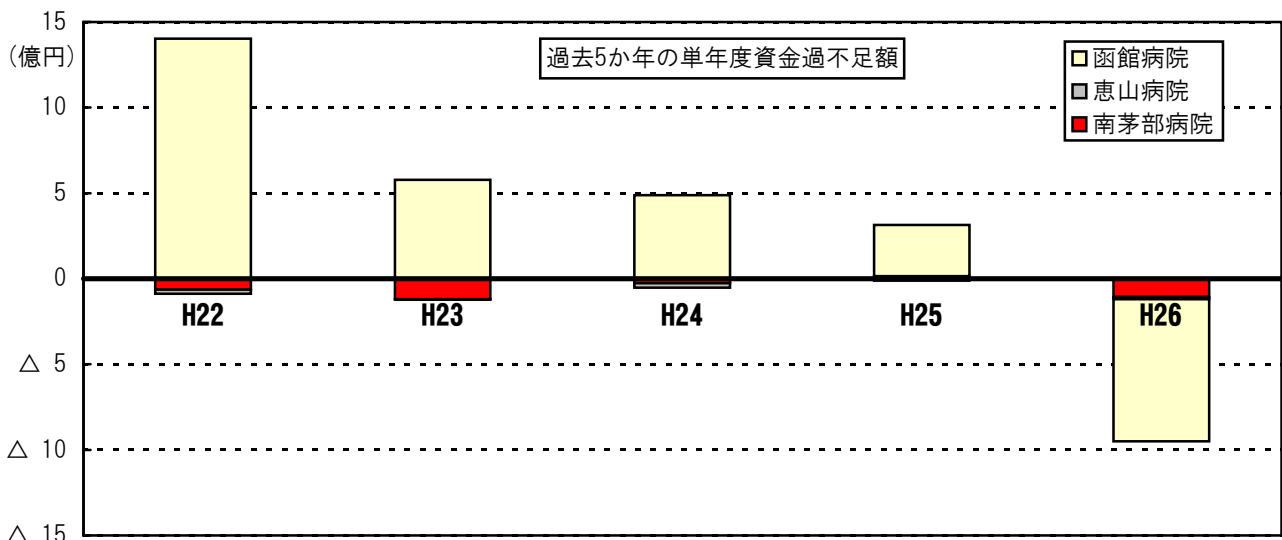
※H23起債元利償還金には公立病院特例債の繰上償還（663,700千円）を含む。

④ 3病院合計

3病院を合計した病院事業全体では、26年度、当年度資金過不足額が9億5,168万6千円の赤字となり、対前年比では12億5,493万円のマイナスとなっています。当初予算に対しては9億5,439万5千円のマイナスとなっています。なお、H26決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっていますが、前年度との比較のため極力旧基準で記載していますので、新基準適用の実際の予算・決算値とは一致しません。また、参考として、過去5か年の単年度資金過不足額の推移を記載しています。

(単位：千円)

科目			H25実績A	H26決算見込B	差引B-A	H26当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	12,984,832	12,165,995	△ 818,837	13,015,491	△ 849,496
		外来収益	3,909,606	4,052,876	143,270	3,674,282	378,594
		その他	248,110	204,630	△ 43,480	275,136	△ 70,506
	医業外収益 (うち一般会計繰入金)		2,062,192 (1,667,890)	2,061,411 (1,706,410)	△ 781 (38,520)	2,088,628 (1,715,128)	△ 27,217 (△ 8,718)
	特別利益		637	62	△ 575	0	62
	計		19,205,377	18,484,974	△ 720,403	19,053,537	△ 568,563
費用	医業費用	給与費	8,762,081	9,235,782	473,701	9,444,898	△ 209,116
		材料費	5,676,161	5,725,770	49,609	5,089,122	636,648
		経費	3,087,180	3,365,477	278,297	3,320,693	44,784
		その他	1,189,375	1,254,394	65,019	1,331,907	△ 77,513
	医業外・学院・予備費		629,455	617,018	△ 12,437	635,675	△ 18,657
	特別損失		76,206	110,871	34,665	116,000	△ 5,129
計		19,420,458	20,309,312	888,854	19,938,295	371,017	
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 139,512	△ 1,713,529	△ 1,574,017	△ 768,758	△ 944,771
収益-費用			△ 215,081	△ 1,824,338	△ 1,609,257	△ 884,758	△ 939,580
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			2,512,367 (734,585)	2,599,412 (782,024)	87,045 (47,439)	2,759,894 (783,194)	△ 160,482 (△ 1,170)
資本的支出			3,200,233	3,034,614	△ 165,619	3,224,884	△ 190,270
資本的収支差引			△ 687,866	△ 435,202	252,664	△ 464,990	29,788
損益勘定留保資金			1,206,191	1,307,854	101,663	1,352,457	△ 44,603
当年度資金過不足額			303,244	△ 951,686	△ 1,254,930	2,709	△ 954,395
一般会計繰入金 合計			2,402,475	2,488,434	85,959	2,498,322	△ 9,888



(単位：千円)

区分	H22	H23	H24	H25	H26
函館病院	1,403,665	577,056	487,868	301,468	△ 832,589
恵山病院	△ 26,325	△ 4,317	△ 28,399	13,260	△ 13,357
南茅部病院	△ 63,456	△ 119,869	△ 26,204	△ 11,484	△ 105,740
3病院合計	1,313,884	452,870	433,265	303,244	△ 951,686

3 主な経営指標

① 函館病院

【改革プランに掲げた目標とH26実績】

- ① 経常収支比率：H27までに100%以上→H26実績95.1%
- ② 職員給与費比率：H21以降50%以下→H26実績46.7%
- ③ 病床利用率（一般）：H24以降85%以上→H26実績78.9%

（単位：％）

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率（一般）
H19	86.4	84.9	51.9	31.0	15.4	81.5
H20	86.2	84.6	52.1	31.2	13.9	73.6
H21	93.9	91.8	46.9	30.7	13.7	78.3
H22	102.1	99.4	44.0	26.9	11.7	81.9
H23	98.7	96.0	45.6	28.5	12.2	78.2
H24	99.0	95.9	44.5	29.8	13.3	78.1
H25	99.4	96.6	43.2	31.9	14.2	78.8
H26	95.1	89.6	46.7	32.6	15.5	78.9

以下 平成25年度全国平均（500床以上の病院）

民間病院	101.4	100.6	50.7	27.2	15.5	—
公的病院（自治体以外）	101.7	101.5	49.5	29.0	18.5	—
公立病院（黒字）	103.4	99.1	46.3	26.6	13.5	83.3
公立病院（上位1/2）	104.6	100.6	45.5	27.0	13.9	84.2
公立病院（全体）	101.7	97.1	47.7	26.2	13.2	82.4

※ 各指標の算式（消費税抜き）

1. 経常収支比率

$$\frac{\text{経常収益（医業収益＋医業外収益）}}{\text{経常費用（医業費用＋医業外費用）}} \times 100$$
2. 医業収支比率

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$
3. 職員給与費対医業収益比率

$$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$$
4. 材料費対医業収益比率

$$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$$
5. 薬品費対医業収益比率

$$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$$

② 恵山病院

【改革プランに掲げた目標とH26実績】

- ①経常収支比率：H23までに100%以上→H26実績104.3%
- ②職員給与費比率：H23以降80%以下→H26実績73.0%
- ③病床利用率：H21以降95%以上→H26実績81.5%

(単位：%)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H19	70.0	59.6	93.6	13.8	7.6	85.3
H20	76.0	65.8	89.9	12.1	5.9	90.4
H21	96.1	80.2	72.3	11.1	5.1	96.1
H22	92.9	77.0	76.8	13.0	6.2	89.4
H23	95.9	77.9	75.2	12.1	5.4	87.3
H24	93.1	75.3	78.7	11.7	5.9	88.6
H25	98.3	78.9	72.1	12.9	6.2	81.8
H26	104.3	79.0	73.0	11.8	5.4	81.5

③ 南茅部病院

【改革プランに掲げた目標とH26実績】

- ①経常収支比率：H21までに100%以上→H26実績89.8%
- ②職員給与費比率：H21以降80%以下→H26実績71.9%
- ③病床利用率：H21以降59%以上→H26実績69.5%

(単位：%)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H19	72.3	64.4	68.5	49.0	43.5	68.2
H20	68.5	56.9	91.4	20.4	11.7	59.3
H21	88.3	71.2	70.1	18.5	11.4	62.4
H22	89.5	71.6	70.2	19.1	12.1	53.5
H23	79.6	62.2	92.1	17.2	10.4	52.0
H24	92.7	72.5	67.7	17.7	10.5	62.3
H25	95.4	75.5	64.7	19.4	12.5	71.1
H26	89.8	70.7	71.9	21.0	14.0	69.5

以下 平成25年度全国平均（50床以上100床未満の病院）

公立病院（黒字）	102.7	84.1	62.6	18.6	12.2	68.5
公立病院（上位1/2）	102.2	84.3	61.9	18.7	12.3	68.8
公立病院（全体）	97.8	81.7	64.0	18.9	12.3	68.5

※不採算地区病院分

Ⅱ 過去5か年の経営実績

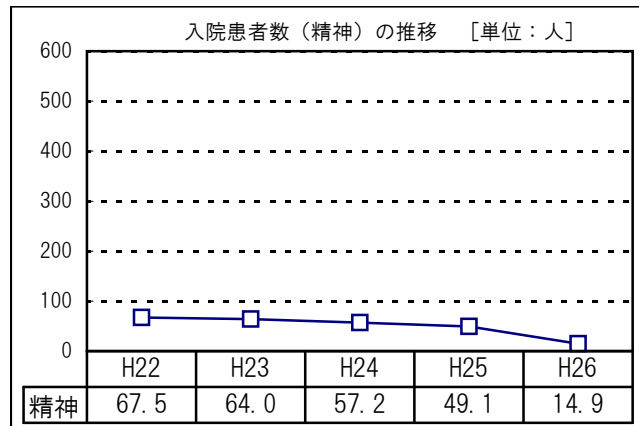
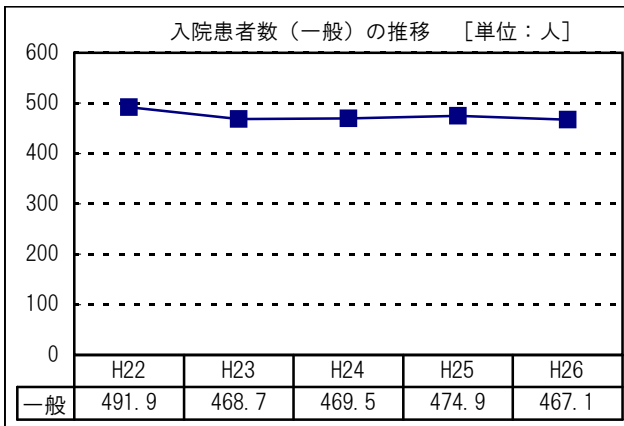
1 医業収益（函館病院）

26年度の1日平均入院患者数は、一般ではドクターヘリ対応の工事の影響等により、467.1人で25年度474.9人に対し7.8人の減、精神は医師減の影響により、14.9人で25年度49.1人に対し34.2人の減となっています。また、新規入院患者数は一般と精神を合わせて11,389人で25年度11,567人に対し178人の減となっています。

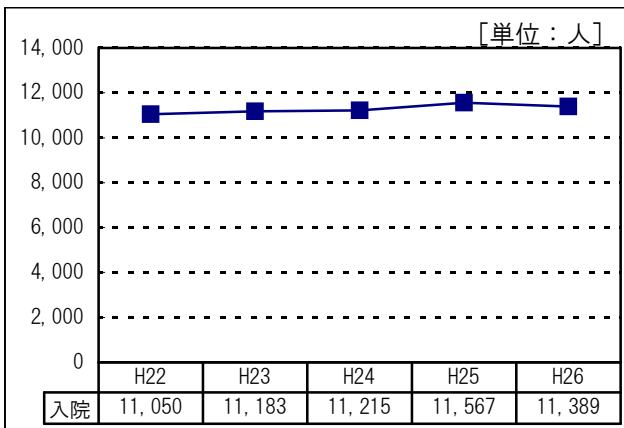
なお、一般の年間平均在院日数は14.0日で25年度14.1日に対し0.1日の減となっています。

26年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般でDPCの評価がⅡ群からⅢ群になったこと等により、66,567.4円で25年度69,257.0円に対し2,689.6円の減、精神は15,208.7円で25年度15,762.3円に対し553.6円の減となっています。

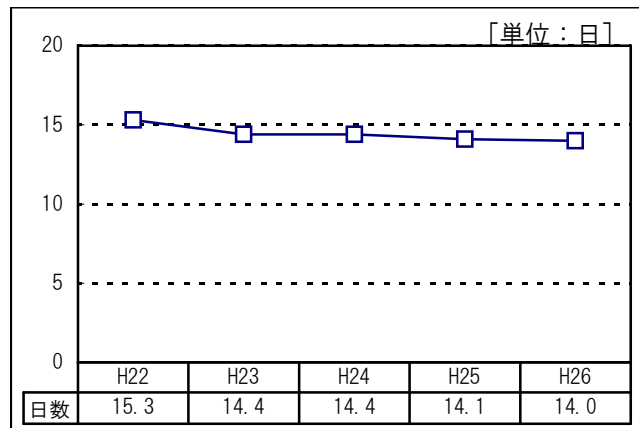
□ 入院患者数（1日平均）



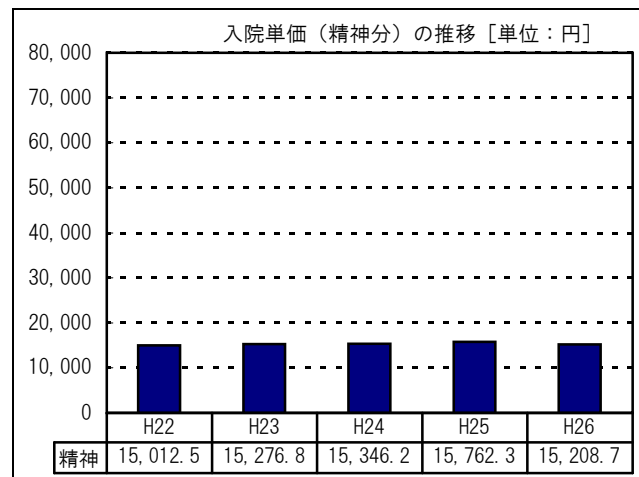
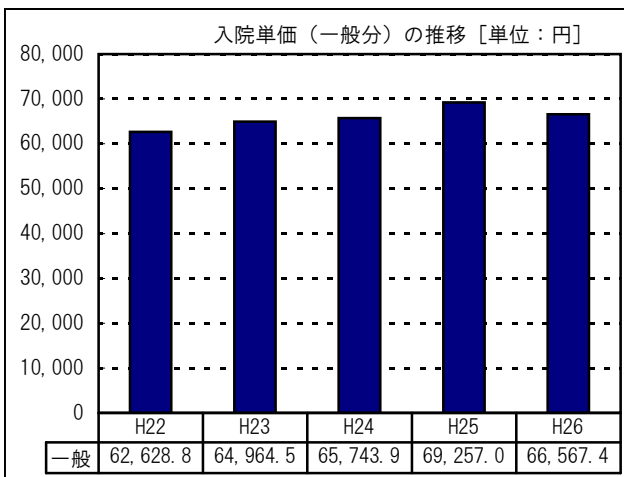
・ 新規入院患者数



・ 年間平均在院日数（一般）



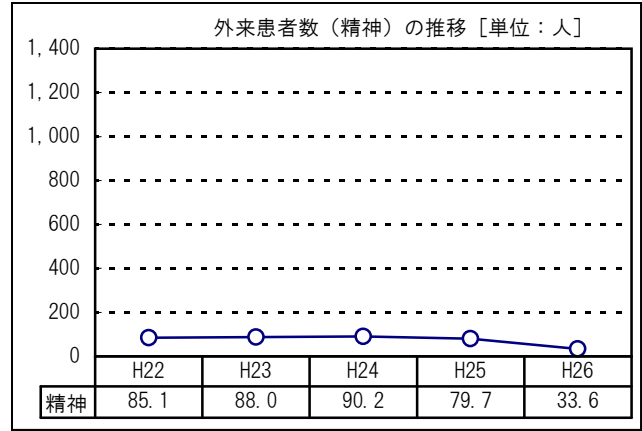
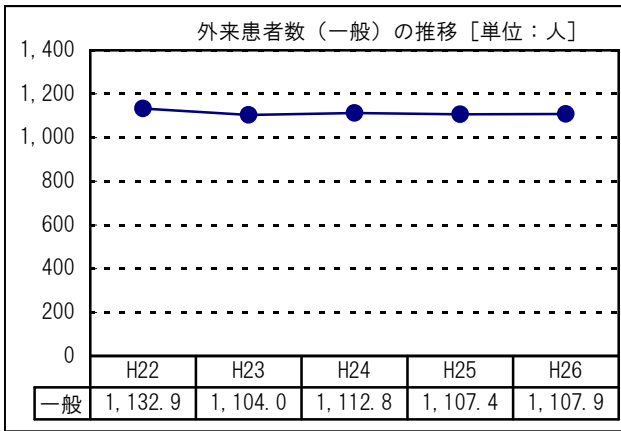
□ 患者1人あたり入院診療単価



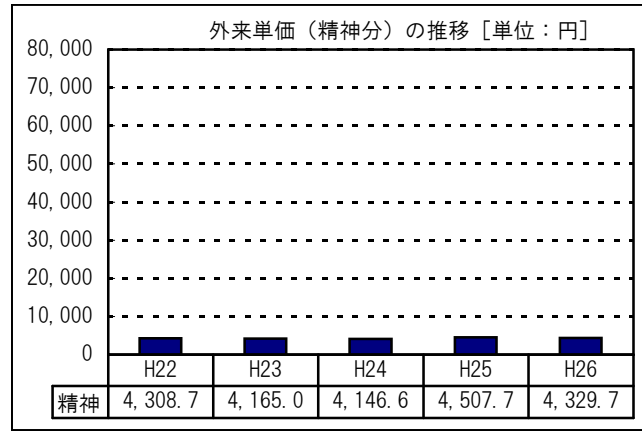
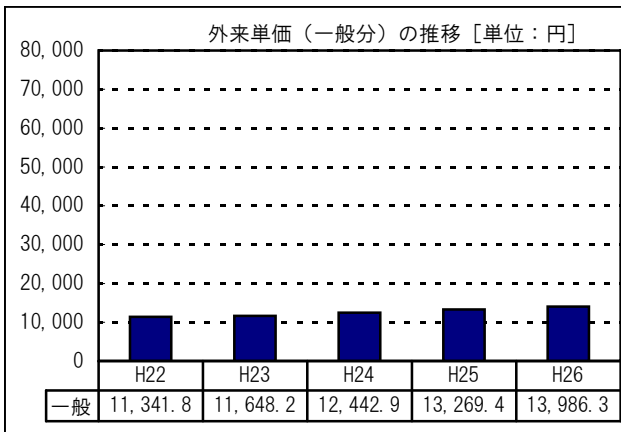
外来患者数は、1日平均、一般1,107.9人で25年度1,107.4人に対し0.5人の増、精神は33.6人で25年度79.7人に対し46.1人の減となっています。

外来患者1人あたり診療単価は、一般で13,986.3円で25年度13,269.4円に対し716.9円の増、精神は4,329.7円で25年度4,507.7円に対し178円の減となっています。

□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり外来診療単価

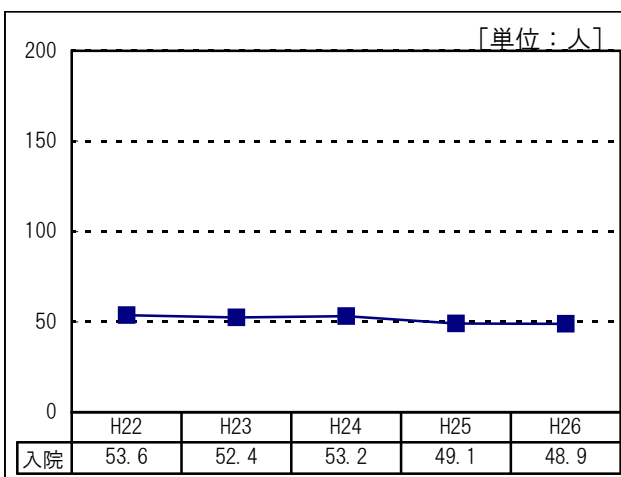


2 医業収益（恵山病院）

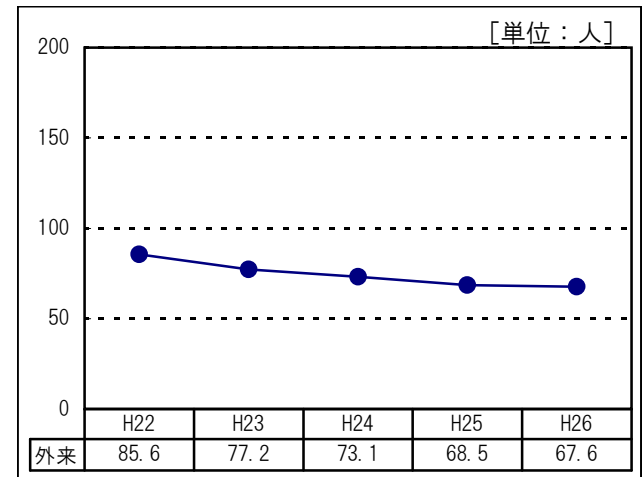
26年度の1日平均入院患者数は48.9人で25年度49.1人に対し0.2人の減、外来患者数は、1日平均67.6人で25年度68.5人に対し0.9人の減となっています。

26年度の入院患者1人あたり診療単価は、22,130.4円で25年度22,301.7円に対し171.3円の減、外来患者1人あたり診療単価は、5,452.9円で25年度5,702.1円に対し249.2円の減となっています。

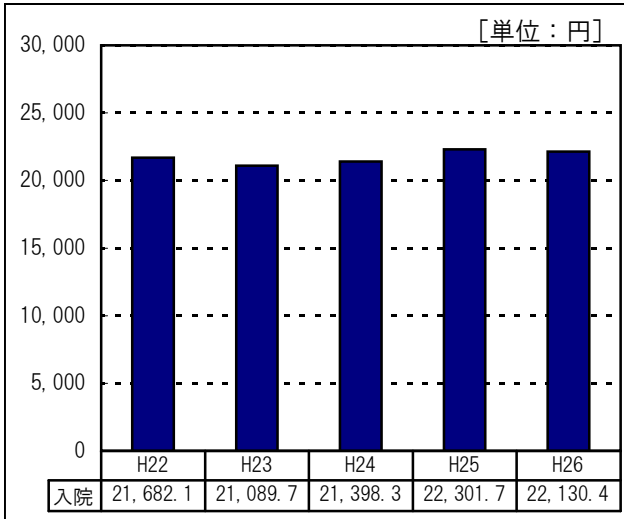
□ 入院患者数（1日平均）



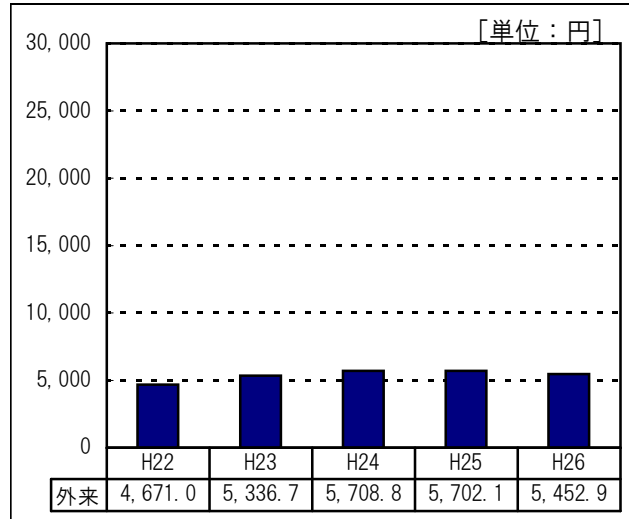
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



3 医業収益（南茅部病院）

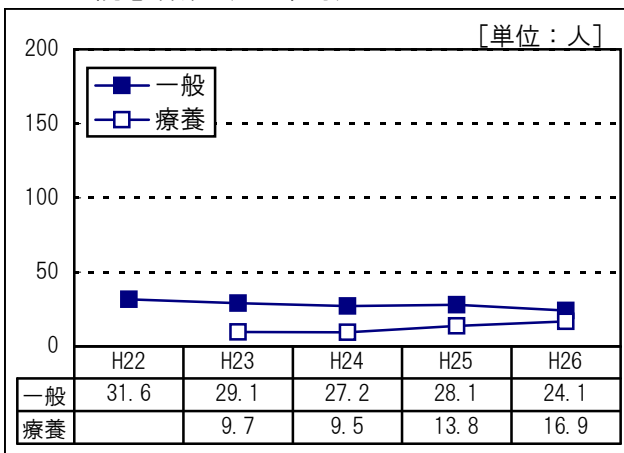
26年度の1日平均入院患者数は、一般24.1人で25年度28.1人に対し4人の減、療養16.9人で25年度13.8人に対し3.1人の増となっています。

また、外来患者数は1日平均97.8人で25年度102.7人に対し4.9人の減となっています。

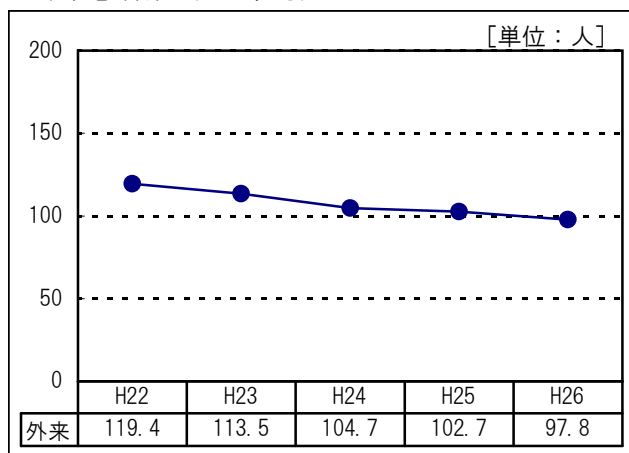
26年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で26,880.2円で25年度25,185.8円に対し1,694.4円の増、療養は7,921.6円で24年度7,854.8円に対し66.8円の増となっています。

また、外来患者1人当たり診療単価は、5,451.9円で25年度5,000.6円に対し451.3円の増となっています。

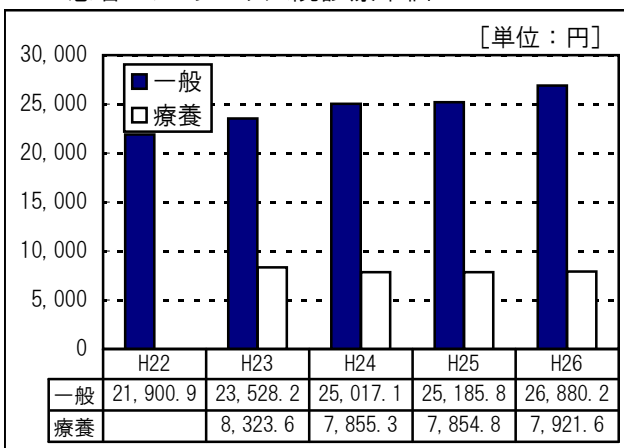
□ 入院患者数（1日平均）



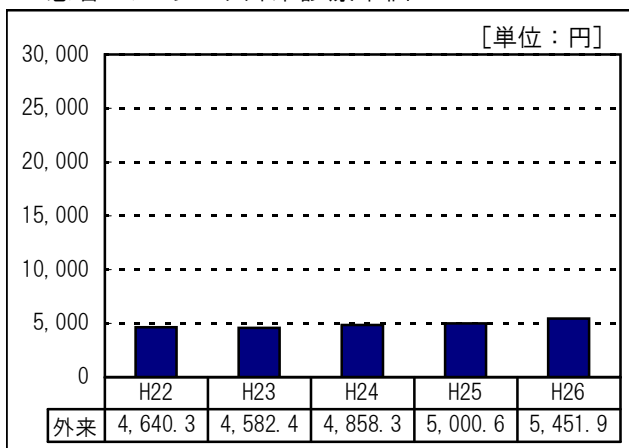
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



4 未収金の状況

函館病院では、未収金対策として、特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度にはコンビニ納付を導入しています。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付や支払督促申立てを行っており、24年度以降、債権差押命令の申立ても行いました。

函館病院の26年度の未収額は、144,299千円で25年度222,294千円に対し77,995千円の減となっています。なお回収不能な未収金59,977千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の26年度の未収額は、1,969千円で25年度1,510千円に対し459千円の増となっています。なお回収不能な未収金384千円については不納欠損処分を行いました。

南茅部病院の26年度の未収額は、3,950千円で25年度3,452千円に対し498千円の増となっています。なお回収不能な未収金94千円については不納欠損処分を行いました。

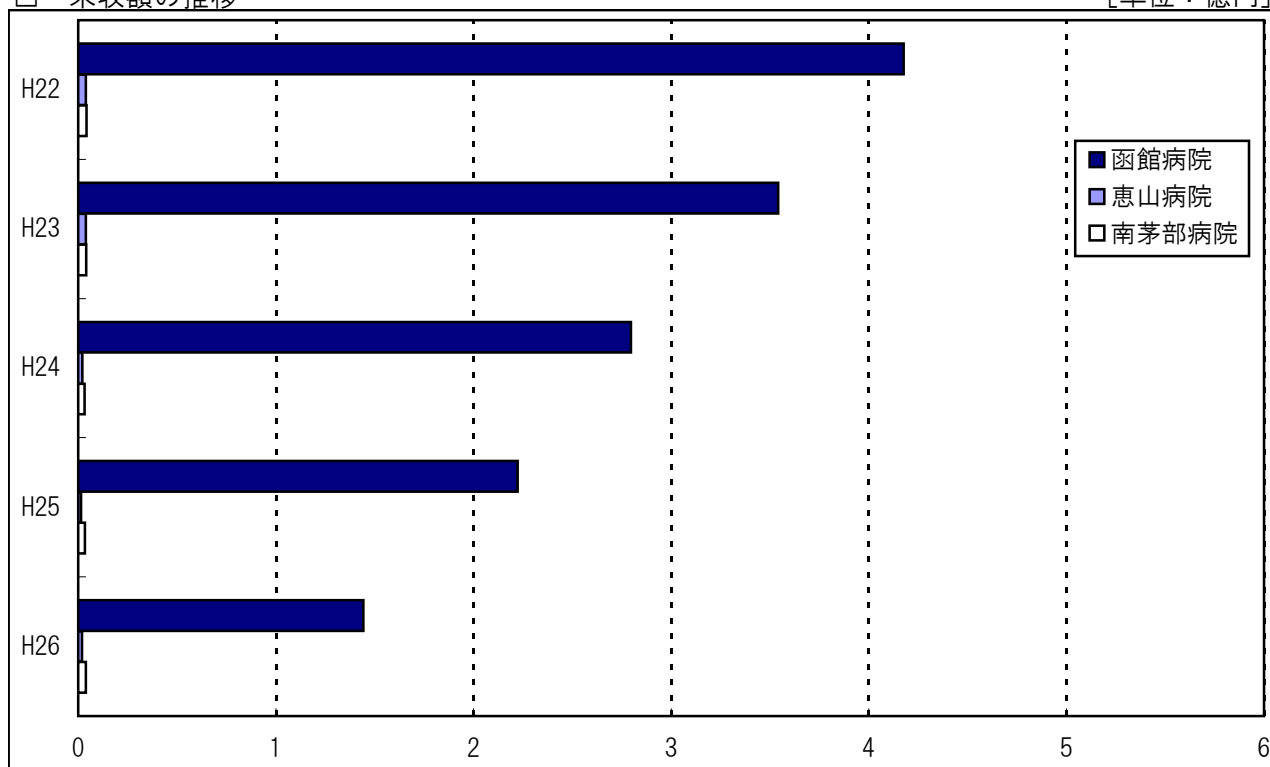
また、会計基準の変更に伴い26年度から貸倒引当金を計上していますが、発生から3年を超過したものについては全額を引当額とし、発生から3年以内の債権については、貸倒実績率の過去3か年の平均により引当額を決定しています。

[単位：千円]

区分		H22	H23	H24	H25	H26
未収額	函館病院	417,713	354,233	279,653	222,294	144,299
	恵山病院	3,820	3,871	2,114	1,510	1,969
	南茅部病院	4,252	4,027	3,229	3,452	3,950
	3病院合計	425,785	362,131	284,996	227,256	150,218
貸倒引当額	函館病院					△ 53,164
	恵山病院					△ 776
	南茅部病院					△ 317
	3病院合計					△ 54,257

□ 未収額の推移

[単位：億円]



5 医業収益に対する材料費の割合

市立函館病院のジェネリック医薬品の採用率は、26年度 品目数ベースで66.4%となっており、25年度の58.6%に対し7.8%上回っています。

薬品費全体では、消費税率のアップなどにより、対前年比104,893千円増の3,468,636千円となっており、診療材料は対前年度48,144千円減の1,965,945千円となっています。

なお、医業収益は入院・外来収益の合計で658,784千円の減となり、材料費が医業収益に占める割合は25年度に対して1.82%の増の35.48%となっています。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数 ÷ 使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数 × 100

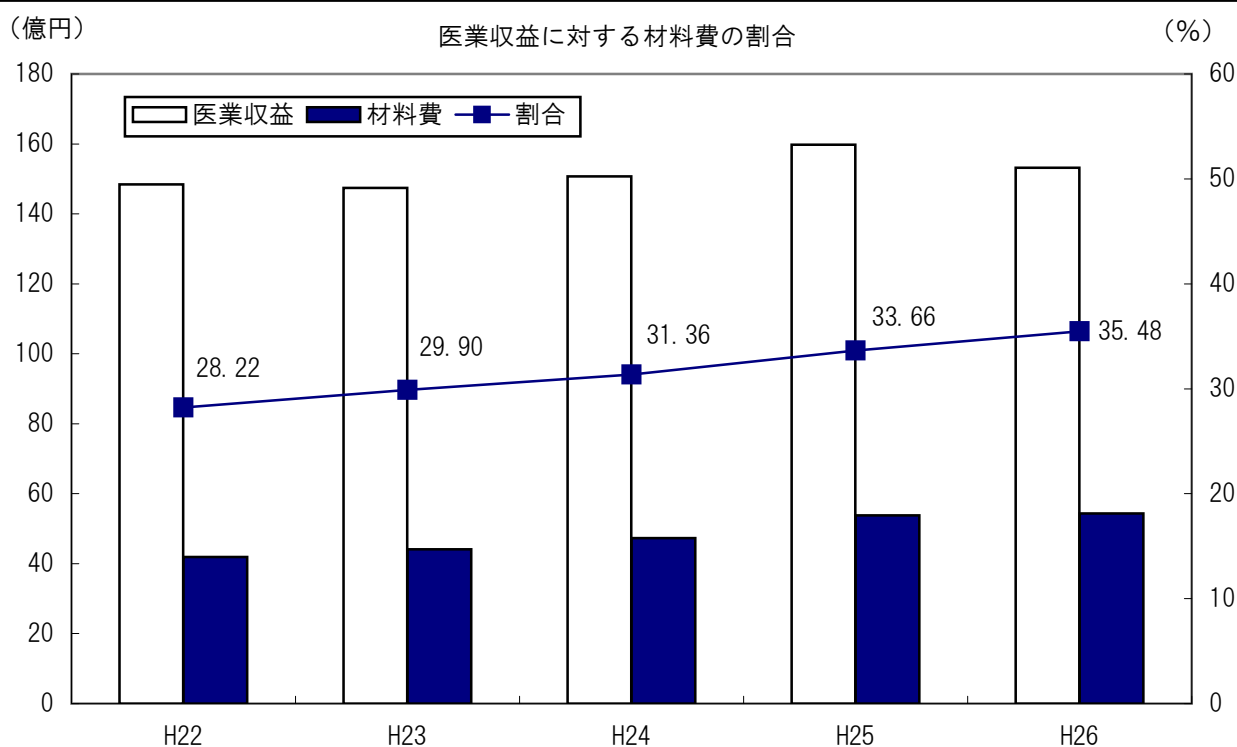
H25. 3月末現在
55.4%



H26. 3月末現在
58.6%



H27. 3月末現在
66.4%



[単位：千円]

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H26-H25
入院収益	11,613,821	11,502,569	11,587,324	12,287,290	11,484,612	-802,678
外来収益	3,224,701	3,240,221	3,483,936	3,688,070	3,831,964	143,894
計 A	14,838,522	14,742,790	15,071,260	15,975,360	15,316,576	-658,784
薬品費	2,535,784	2,527,630	2,854,780	3,363,743	3,468,636	104,893
診療材料費	1,651,974	1,880,631	1,872,274	2,014,089	1,965,945	-48,144
計 B	4,187,758	4,408,261	4,727,054	5,377,832	5,434,581	56,749
B ÷ A × 100	28.22%	29.90%	31.36%	33.66%	35.48%	1.82%

※消費税込みの額で算出しているため6ページの材料費対医業収益比率とは一致しません。

また、H26の入院収益の数値は比較のため旧基準となっています。

Ⅲ 改革プラン収支計画との比較

1 収支計画と実績の比較

▼改革プラン収支計画（H23. 2月改訂）と実績（※収支計画、実績ともに特例債分を除いたもの）

（単位：百万円）

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
函館病院							
単年度 資金過不足額 実績	△ 250	1,403	577	488	301	△ 832	△ 264
累 積 " "	△ 2,249	△ 846	△ 268	220	521	△ 311	△ 575
単年度 資金過不足額 計画	△ 250	870	923	521	367	314	261
累 積 " "	△ 2,249	△ 1,379	△ 456	65	432	746	1,007
恵山病院							
単年度 資金過不足額 実績	11	△ 26	△ 4	△ 28	13	△ 13	6
累 積 " "	△ 199	△ 225	△ 230	△ 258	△ 245	△ 258	△ 252
単年度 資金過不足額 計画	11	△ 45	8	△ 49	9	△ 30	△ 28
累 積 " "	△ 199	△ 244	△ 236	△ 285	△ 276	△ 306	△ 334
南茅部病院							
単年度 資金過不足額 実績	△ 45	△ 63	△ 120	△ 26	△ 11	△ 106	△ 98
累 積 " "	△ 8	△ 72	△ 192	△ 218	△ 229	△ 335	△ 433
単年度 資金過不足額 計画	△ 45	△ 71	△ 71	△ 34	△ 86	△ 170	△ 149
累 積 " "	△ 8	△ 79	△ 150	△ 184	△ 270	△ 440	△ 589
単年度資金過不足額 計							
実 績	△ 284	1,314	453	434	303	△ 951	△ 356
計 画	△ 284	754	860	438	290	114	84
累積資金過不足額 計							
実 績	△ 2,456	△ 1,143	△ 690	△ 256	47	△ 904	△ 1,260
計 画	△ 2,456	△ 1,702	△ 842	△ 404	△ 114	0	84

一般会計繰入金							
実 績	2,689	2,948	2,561	2,536	2,402	2,488	2,401
計 画	2,689	2,953	3,057	2,711	2,574	2,492	2,421

参考：特例債分含んだ一般会計繰入金							
実 績	2,689	2,948	5,487	2,536	2,402	2,488	2,401
計 画	2,689	2,953	3,642	3,296	3,159	3,077	3,006

※ 実績欄はH26まで決算額、H27は当初予算

▼収支計画と実績の主な相違点

- ① 一般会計繰入金
 - 計画：経営健全化分等としてH21は2億円，H22～H23は4.8億円，H24以降は毎年2億円を繰入。
 - 実績：経営健全化分等はH23から繰入なし。
- ② 企業債
 - 計画：H26より計上。
 - 実績：H23特例債繰上償還により，資金不足比率が10%を下回ったためH24より発行。
- ③ 地域医療再生計画事業費補助金
 - 計画：計上なし。
 - 実績：H23からH25の3年間で約5億3,400万円の補助金の交付。
- ④ 公立病院特例債の繰上償還
 - 計画：29億2,610万円をH23からH27の5か年で一般会計繰入金を財源として償還。
 - 実績：H23一般会計からの繰り入れにより29億2,610万円を全額繰上償還。
- ⑤ 消費税率の増
 - 計画：計上なし。
 - 実績：H26から3%アップ（診療報酬は0.1%のアップ）